



愛媛FCは、サッカーを通じて、未来ある子供たちに夢と希望、感動を与え、地域に活力をもたらすような「ひとづくり」「まちづくり」に貢献する存在を目指しています。



サッカーの面白さを伝えたい



サッカー交流



サッカー先生



幼稚園や児童館訪問



高校での教育推進事業

心の距離を縮める交流ゲームを行ったり、ウォーミングアップの仕方を教えたりしています。サッカー先生や給食先生、サッカー教室や幼稚園訪問、各施設訪問やまち中清掃活動など、年間約150回を超える活動を実施しながら、サッカーの普及活動や学校訪問に力をいれています。レディースの選手も行っています。

夢をもつことの大切さを伝えたい



愛媛FCのトップチームやレディースチームには、様々な分野に深い知識や経験をもった選手やコーチ、マネージャーなどが在籍しています。

「夢の力」や「働く大人の一日」を追った講演会、「食事とスポーツの関係性」「夢をもつことの大切さ」を問いかける講演会なども行っています。

2019年になでしこ1部に昇格した愛媛FCレディースは、所属選手全員がアマチュア契約で、日中は働き、夜に練習をしています。「夢を追う力」について今後講演を行っていく予定です。



愛媛FCは、「えひめジョブチャレンジU-15事業」に賛同し、職場体験学習を受け入れています。愛媛FCの様々な部署に所属するスタッフの仕事を経験することで、将来の職業選択に生かしてもらえたらと思います。

愛媛FCの地域貢献活動



愛媛FCは、毎シーズン愛媛県下の全20市町と協力し、各試合ごとに「マッチシティ&マッチタウン(MCMT事業)」をホームゲーム時に開催しています。

愛媛FCのスタジアムを通じて、各20市町の観光情報PRや、各地域の色彩豊かな特産品・物産展などの出展、文化伝統芸能の披露など、全国に愛媛の素晴らしさを発信しています。



また、「1市町1選手応援事業」を行っています。県下20市町にそれぞれ特定の選手を決め、その選手が担当する地域のイベントに積極的に参加し、交流を深めています。



スポーツの力で復興を

東日本大震災や、西日本豪雨災害で被災された地域の支援活動を行っています。スポーツの力で元気をつけたいと考え、災害の1年後にも学校訪問を行いました。一緒にサッカーをして汗を流したり、給食を囲んだりして交流を行いました。高校へのサッカー用具寄贈など、地域の方にも笑顔を届けたいと継続して行っています。



サッカーゲーム



清掃・休み時間



交流給食

平成30年7月に西日本を中心に襲った豪雨災害。被害が大きかった宇和島市、大洲市、西予市の各地に赴いてボランティア活動を行いました。



土砂撤去作業



義援金募金活動

コロナ禍における愛媛FCとしての「つながり愛」活動



新型コロナウイルスの感染予防に役立ててもらおうと、愛媛FCの前野貴徳、西岡大輝、森谷賢太郎の3選手が、県にマスク2500枚を寄贈しました。



新型コロナウイルスに感染した軽症者らを受け入れる宿泊療養施設にクラブスポンサーの菓子や飲料を贈りました。学校で飲む「ボンジュース」は愛媛県民馴染みのジュースです。



渡邊選手、前野選手、森谷選手、藤本選手が新型コロナウイルス感染症対策用品を松山市と松前町の教育委員会に寄贈し、感謝状を頂きました。



「ココロもコロナに負けるな」コロナによる差別をなくそうと、愛媛県内のプロスポーツ4チームが動画を配信しています。